

一八十八話感想文―第四十三話 長女が津波に奪われた  
率先避難者になる」 東海小学校 五年 島本一はく

近いうちに必ず来ると言われる南海地震。約七十年前の地震では、地震発生後十分程度で津波が押し寄せた地域もあるようだ。私に住む東海地区には、約十五分で第一波が来ると予測されている。だから地震が来た時には揺れがおさまるまで身を守った後、すぐ高台へ逃げることを考えなければならぬ。数年前、愛南町で大きな地震があった。その時、私たち家族は、津波が来るかもと、ペットの犬も連れて外に出た。しかし、私の家の周りで、逃げる準備をしている人はいなかった。その後、津波の心配はないという情報を確認してわが家は、家に戻った。今振り返ると、もし津波が来ていたら、近所の人たちは情報が入ってから避難準備をすることになるので、避難が遅れたはずだ。この話でも、地震の後には津波に備えて即刻逃げることを大切さを伝えている。我が家は、地域の率先避難者になることを心がけたい。地域みんなで互いの命を守り合う関係を築いていきたい。